

ひろか

だより

第378号
 令和6年1月1日
 発行
 弘果 弘前中央青果株式会社
 TEL 0172-27-5511



謹賀新年



新春を迎えて

弘果 弘前中央青果株式会社
 代表取締役社長
 葛西 静 男

令和6年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶びを申し上げます。また、平素は弘果ならびにグループ各社に対しまして、格別のお引き立て、ご厚情をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

令和5年を振り返りますと、新型コロナウイルスが感染症法上の「5類」へ移行したことにより、社会経済活動の正常化に向けて動き出しました。また、この年の世相を表す漢字が「税」となったように、増税、減税、インボイス制度、ふるさと納税等、多岐に渡る「税」にまつわる話題が取り沙汰された一年でした。そして混迷を極める国際情勢は予断を許さず、政治経済的な状況の変化、各種物価高騰等、楽観できない状況が続いています。明るい話題としては、WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）で侍ジャパンが3大会振りの世界一奪還を果たし、ラグビーワールドカップ日本代表の活躍もあり、それらの勇姿は日本中に大きな感動を与えました。

農作物の生産、流通においては、全国的な記録的猛暑により、品質や収穫量に深刻な影響を及ぼし、需給バランスや消費動向

価格等が大きく変動しました。生産面において近年は、異常気象やそれに伴う災害の発生、農作物の各種病害の発生等、生産者の皆様におかれましては、対応に追われ、生産管理に非常に苦労されています。このような状況の中、地域農作物の生産、流通、消費を支える皆様が各分野で奮闘されていることに、あらためて感謝申し上げます。

令和6年を迎え、当社は青果物流通の未来に向け、社歌である「弘果の歌」に込められた創業の理念を振り返り、その一節にある「心ひとつの弘果」「広域と組織の力」が象徴する、今日まで積み上げてきた温故知新の精神（こころ）で邁進してまいります。また、会社指針にある通り、地域に対し誠実に奉仕し、創意工夫して難題を乗り越え、未来に向けて改革挑戦すること、「地域と共に歩む企業」として、生産者、買参人、消費者をつなぎ、農作物の生産と流通を通して、産業、経済の活性化を図り、地域の発展により一層貢献していく所存であります。

つきましては倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます

- (株) 弘前水産地方卸売市場
- (株) 弘前丸魚
- 弘果総合研究開発(株)
- (株) 津軽りんご市場
- (株) 弘果物流
- 弘果コスモ保険サービス(株)
- (株) 弘前花き
- (株) スコーレ
- 弘果りんご園(株)

- 弘果総合食品卸売組合 会長 山田 明宏
- 弘果青果卸組合 会長 安田 清一
- 弘果 弘 青 会 会長 葛原 和典
- 弘果地場やさい連絡協議会 会長 相馬 義彦
- 弘前花き弘栄会 会長 相馬 博光
- 弘果・弘前花き連絡協議会 会長 高杉 成春
- 弘果りんご買参人共進会 会長 葛西 万博
- 弘果りんご買参人共進会青年部 部長 白藤 功太郎
- 弘果りんご連絡協議会 会長 須藤 恵司
- 弘果りんご連絡協議会婦人部 部長 清藤 富士子
- 弘果りんご連絡協議会青年部 部長 藤田 隆之
- 青森オリジナル生産連絡協議会 会長 渋谷 充
- 青森オリジナル生産連絡協議会青年部 部長 工藤 幹康
- 津軽りんご市場峰会 会長 竹谷 保
- 津軽りんご市場連絡協議会 会長 葛西 直人
- 津軽りんご市場連絡協議会婦人部 部長 木村 イク子
- 津軽りんご市場連絡協議会青年部 部長 長峰 良孝
- 弘前水産卸組合 理事長 山内 伸和
- 弘前水産冷蔵協同組合 代表理事 小野 貴志

令和6年を迎えて

弘果グループ関連の生産者団体の会長に昨年を振り返ってもらい、業界を取り巻く情勢を踏まえ、令和6年に向けた取り組みについて展望していただきました。

弘果りんご連絡協議会

須藤 恵司 会長



生産面から振り返ると令和5年産は、春先の気温の影響により開花が早く、凍霜害や中心果満開時の強風によるシブ果、サビ果の発生、記録的な猛暑の影響による、着色不良、ヤケ果の発生、高温障害による落果が多く、気温が高いことにより、モモシンクイガの卵が薬剤散布前にふ化し、幼虫が食入する被害がありました。また、鳥獣害も例年に比べて多く、食害のみならず、樹にダメージを受けると、これからの生産に大きく影響しています。総じて、良品物が少なく、下位等級品が多い年となりました。弘果や買参人の皆様へ支えていただき、全体的に高値で取引されたことに感謝しております。

津軽りんご市場連絡協議会

葛西 直人 会長



去年は、コロナ禍が明けると言っても過言ではなく、停滞していた社会経済活動が本格的に動き始めました。当会としては、婦人部及び青年部

対策について、徹底した防除は、病害を抑え、高品質生産へ繋がることを念頭に、防除を「防除暦」頼みにするのではなく、生産者が栽培経験を活かし、知恵を出し合っただけでなく、共有していく姿勢が大事だと考えます。

現在、りんごの生産現場では、異常気象による自然災害やりんご生育環境への懸念、少子高齢化による労働力不足、後継者不足、それに伴う有袋化率の低下、放任園地の増加等、問題が山積しております。当会の設立目的である「消費動向にあつた品種構成、生産技術の高度化、選果基準の共有化等、りんご生産者出荷組合相互の情報交換とりんご生産者・出荷者

が主体となり、生産者と市場地域をつなぐ活動の一環として、4年振りとなる「仮装盆踊り大会」が開催されたことを、とても感慨深く思っております。また、りんご

ご生産面においては、春先の気温や記録的な猛暑等の気候的要因が、その後の生育に大きな影響を及ぼしました。全体的には下位等級品の割合が多くなり、また、鳥害もありました。しかし、食味良く仕上がったことから活発に取引されたことで、生産者はその結果に安心したと言える一年でした。令和6年に向けて、



弘果地場やさしい連絡協議会
相馬 義彦 会長

昨年、気象的要因が野菜の生産、消費に大きな影響を及ぼしました。特に青森県では記録的な猛暑となり、野菜生産

において高温や干ばつ等が生育に大きく影響し、生産量、価格が大きく変動した。常々申し上げておりますが、我々野菜生産者は、天候や産地間リレーで生産量、価格が変動

することを前提に、農業経営をしていかなければなりません。当会は、多種多様な野菜生産者の集まりです。情報交換・共有は基より、会員の英知を結集することで、これからの時代に向けた適地適作を考え、時代のトレンドやニーズを反映させていく等、多様性に富んだ会の強みを活かしていくことが必要だと考えま

す。令和6年を迎え、当会では各品目に精通した会員の意見を反映させ、運営、意志決定を行い、弘果、青果仲間、買参人との情報交換を密にし、会員への有益な情報提供と地場野菜の消費拡大及び活性化に向けて、積極的に活動いたします。

「辰年」文字絵りんご



ちさと 岩崎智里氏 作

昨年は、新型コロナウイルスの「5類」移行を契機に、花き業界では各種需要の回復が期待されましたが、新しい生活様式の浸透による人数や会場規模の縮小から、コロナ禍以前の需要を回復するには至りませんでした。また、花き

の増加が経営を圧迫しています。このような状況が続けば採算性の問題から、廃業、栽培品目の転換等により、生産量減少が危惧されます。

令和6年を迎えるにあたり、需要と供給が縮小傾向の業界を盛り上げていくために当会では、品質向上や安定供給は勿論のこと、消費動向の多様化に対応していくことが重要と考えています。ま



弘果・弘前花き連絡協議会
高杉 成春 会長

の生産現場では、各種物価高による生産コストの増加が経営を圧迫しています。このような状況が続けば採算性の問題から、廃業、栽培品目の転換等により、生産量減少が危惧されます。

た、花きが生活の潤いと心の豊かさを育む必需品であることを再確認し、消費喚起につながる活動が必要で、弘前花きのキャッチフレーズ「お花いっぱい幸せライフ」のように、皆様の「幸せライフ」に花きが彩りを添えられるように、「お花いっぱい」を絶やすことなく生産に励み、種として時いた地道な努力、活動が「花」開くことを願って取り組んで参ります。



青森オ리지ナルメロン
生産連絡協議会
渋谷 充 会長

昨年当協議会では、会員の多くの園地で被害が出た一昨年の豪雨災害からの復旧と

各種のコスト高騰がメロン生産に大きな影響を及ぼすと危惧していました。蓋を開けてみると、青森県では観測史上初となる猛暑の影響もあり、品種によってはヤケ果

や生育不良も多く見られる中ではあります。が、会員の皆様のため、まめ努力により、概ね肥大、食味ともに良く仕上がりました。ことに安堵しております。また、単価につきましても、弘果、買参人各位のおかげをもちまして、平年に比べ高単価での取引となり、これまでの苦労が報われ、大きな励みとなりました。

一昨年の豪雨、昨年の猛暑等、メロン生産現場も異常気象、気候変動の影響を受けています。また、止まらない生産コストの上昇や、各種病害への対応等、予断を許さない状況です。令和6年に向けてメロン生産を始めると、協議会として、会員の蓄積されてきた経験、情報、栽培技術等を結集し、出来る限りの対策を講ず

る所存です。これからも、美味しく高品質な「つがりあんメロン」の生産で産地の維持、活性化を図っていきたく思います。また、栽培者増加に向けた取り組みとして、メロンの商品性、将来性を発信していくとともに、後継者育成事業を積極的に、一大産地として地域産業が続いていく様に、取り組んで参ります。

毎年恒例新春特別企画 「辰年」生まれに3つの質問



辰

- ①…去年はあなたにとってどんな年でしたか。
- ②…今年の抱負・決意をお聞かせ下さい。
- ③…「辰（龍）」でどんなことを連想しますか。

①：トマト、ねぎをはじめ、多品目の野菜、果物を栽培しています。去年は夏場の高温が生育に大きな影響を及ぼし、メインのトマト、ねぎの収量は例年と比べ半分程度となりました。経営面では単価高に助けられた部分もありますが、野菜生産者として、納得がいく品物を出荷できなかったことは非常に堪えました。また、近年続く資材の高騰も経営に響き、とても厳しい一年となりました。

②：就農して5年、全ての栽培品目において、自身の立てた計画



しんご 齋藤 信悟さん
清野袋野菜生産出荷組合
(弘前市清野袋)
昭和51年生まれ

①：岩木山麓で農作物を生産し、市場で仕入れた品物と併せて、父と一緒に販売しています。店は場所柄、観光客が多く通る場所に立地しているため、例年は観光シーズンを中心に賑わいます。コロナ禍も実質的に明け、観光客も徐々に増え始め、活気を取り戻しつつあります。しかし生産面において、りんご



てるみ 対馬 照美さん
山麓の駅三國農園
(弘前市高岡)
昭和39年生まれ

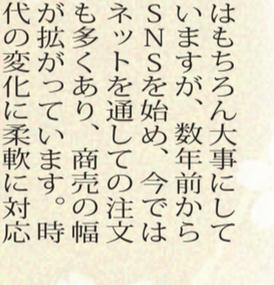
を達成したことがなく、軌道に乗っている感じがしません。今年目標達成に向けて、計画的な生産により近づけるため、作付け方法を工夫する等、柔軟に対応し、品質の差が無く、計画した収量を上げていく「平均的」な農業経営を心掛けていきます。

③：「ランキング1位」「辰（龍）」は選んでないけれど、干支の男性ランキング1位だそうなんです。確かにカッコイイイメージがあるので、年男の私は何だか誇らしいです(笑)



こうたろう 三浦 公太朗さん
東日流青果株式会社
(田舎館村川部)
昭和51年生まれ

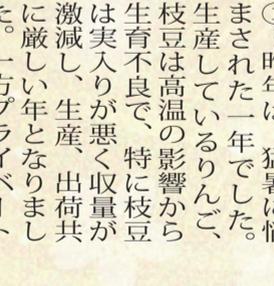
①：甲辰(きのえたつ)「私の生まれ年と令和6年の干支です。「甲辰」は春の暖かい日差しが大地すべてのものに平等に降り注ぎ、急速な成長と変化を誘う年となるそうです。生まれ年の干支に戻る「還暦」を迎え、心機一転して、更なる成長と良い変化をもたらし一年としたいと思います。



さとし 松山 聡さん
五月会
(鶴田町中野)
昭和51年生まれ

①：公私ともに忙しい一年でした。「公」では、取扱う店舗が増え、営業、配達等の対応で、良い仕事が出来たと実感しています。「私」では、村の体育協会ソフトボール監督として、指導を通して子供たちの育成に携われたことが良い経験となりました。

②：公私の「公」は、産地や市場とお客様を繋ぐパイプ役である仲間としてプロ意識を持ち、新鮮な野菜・果物等の流通を通じて、お客様のニーズに柔軟に



はやと 小田 桐 勇人さん
りんご・枝豆生産者
(弘前市大沢)
昭和63年生まれ

①：昨年、猛暑に悩まされた一年でした。生産しているりんご、枝豆は高温の影響から生育不良で、特に枝豆は実入りが悪く収量が激減し、生産、出荷共に厳しい年となりました。一方プライベートでは、趣味の釣りを満喫した一年でした。

②：りんごは、改植



りゅうへい 三上 龍大さん
森沢出荷組合
(弘前市大森)
平成12年生まれ

①：りんご栽培を始めてまだ年月が浅いですが、昨年の猛暑や一昨年の豪雨等の気象的要因や、近年多発している病害で、りんごの栽培環境が目まぐるしく変化していると実感しています。

②：農業は、栽培管理、薬剤、経営、機械、土木等、多方面の知識、経験が必要な仕事です。今は経験を積み重ねている時ですが、令和6年は年男として、

て、被害を食い止めていきなさい。

③：「実在しないが十二支の中で最強」十二支の中では唯一架空の生き物ですが、龍は麒麟、鳳凰、靈龜と並んで、四種の靈獣の一つで、四種の中で最も力がある動物とされています。調べてみると、龍は天に昇ることから、あらゆる運気上昇にご利益があるそうです。年男として迎える令和6年は、龍にあやかり、自分に関するあらゆる運気上昇を期待しています。

し「龍が水を得て昇天する様に、勢いや時機を得て大いに活躍する」という格言です。自分辰年と言う事もあり、今年はこの言葉にあやかって、公私ともに益々の活躍ができる年としたいと思います。

干支である「辰龍(たつ)」の運気上昇パワーにあやかって、目標「達(たつ)成」に向けて、益々飛躍できる年としたいと思います。

③：「登龍門」これは「竜門」という流れが急な川を上った鯉は龍になる、といわれる伝説から来ている言葉です。自分も竜門(課題や困難)を登り切った(乗り越えて)龍になる(成功する)ことをイメージして、日々の仕事に励んでいます。

永年勤続優良社員表彰式



当社の永年勤続優良社員表彰式が12月20日、アートホテル弘前シティにおいて行われました。表彰者は次のとおりです。(敬称略)

【40年表彰】野崎富栄(弘果りんご園)

【30年表彰】久保利征(電算室)、齊藤貴志(りんご部)、佐藤雅(りんご部)、田澤 貴(そ菜部)

【20年表彰】高杉安記子(総務部)、對馬直也(総務部)、高杉雄樹(津軽りんご市場)、成田賢正(りんご部)、赤平 駿(りんご部)、神山晴好(津軽りんご市場)、一戸美穂(弘果物流)

【10年表彰】大中 努(りんご部)、舛田宏樹(弘果総合研究開発)、小野雄祐(りんご部)、小山内健悟(りんご部)、西塚里衣子(津軽りんご市場)、渡辺由加(総務部)、吉岡みづき(総務部)

表彰された方々おめでとうござい

改植・新植時の資材購入費に、**最大10万円**を助成します。

令和7年度実施分

りんご高密度植栽培 弘果応援事業 募集!

りんご高密度植栽培導入 弘果応援事業

弘果弘前中央青果及び津軽りんご市場では、令和7年度に、国の果樹経営支援対策事業を活用し、りんご超高密度植栽培による改植・新植を実施する生産者に、10a当たり10万円までの支援をします。

高密度植栽培のメリット

- ・早期多収
- ・省力作業
- ・栽培管理のしやすさ

概算経費 約240万円/10a
(苗木代 90万円、トリス設置 120万円、資材費 30万円)
※上記経費は、弘果総研試験圃の事例による参考額です。
また、国の果樹経営支援対策事業により、改植 73万円/10a、新植 71万円/10a 以内の補助金が見込めます。

【応援内容】

- ① 実施年度: 令和7年度定植実施(令和6年度に国、果樹経営支援対策事業の申請が必要になります。)
- ② 対象品目: りんご超高密度植(トールスピンドル)栽培
- ③ 助成内容: 必要経費のうち弘果物流から購入した資材(主幹ポール)費に対して一部を助成します。助成金は10a当たり10万円以内(対象面積は、地続きで2a以上10aまで)
- ④ 苗木のあつせん: 苗木を自己調達できない方には、当方でまとめて確保し、あつせんします。

【対象者】

- ① 弘果弘前中央青果又は津軽りんご市場にりんごの出荷実績(令和3年度以降)がある生産者。ただし、新規就農をする場合は出荷実績の有無を問わず出荷者登録により対象とします。
- ② 青森県内に在住する生産者

【申込方法】

- ① 助成金を希望する方は、所定の申込書により令和6年3月末日までに、弘果弘前中央青果又は津軽りんご市場の担当者に申込してください。
- ② 全体で20人程度の予算枠を確保しておりますが、予算枠を超えた場合は、先着順となります。

【お問い合わせ先】

- 応援事業について 弘果 弘前中央青果 りんご部 高密度植栽培事業担当まで TEL:0172-27-5511
- 津軽りんご市場 営業部 高密度植栽培事業担当まで TEL:0172-72-1211
- 高密度植の栽培管理について 弘果総合研究開発 業務部 高密度植栽培担当まで TEL:0172-29-4184

2024 令和6年 弘果開・休業日曆

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31					

●印は休業日
○印は休業日
●印は休業日
○印は休業日

弘果弘前中央青果(株) TEL:0172-27-5511
(株)弘果物流 TEL:0172-27-1800
弘果総合研究開発(株) TEL:0172-29-4184
弘果コスモ保険サービス(株) TEL:0172-29-3353

各市場内及び精算窓口で配布中

弘果総研 QR

弘果総研

0172-29-4184

弘果と津軽りんご市場では、国の果樹経営支援対策事業を活用し、令和7年度にりんご超高密度植栽培(250本以上/10a)による改植・新植を計画している生産者の負担軽減を図るため、10万円までの支援を行います。3月末日までと成っており、20人の枠を確保しております。苗木の手配についてもあつせんしております。是非この機会に、生産性の向上を目指してりんご高密度植栽培に取り組んでみてはいかがでしょうか。

弘果総合研究開発 業務部 高密度植栽培担当までお問い合わせください。



りんご高密度植栽培応援事業募集!

弘果と津軽りんご市場では、国の果樹経営支援対策事業を活用し、令和7年度にりんご超高密度植栽培(250本以上/10a)による改植・新植を計画している生産者の負担軽減を図るため、10万円までの支援を行います。3月末日までと成っており、20人の枠を確保しております。苗木の手配についてもあつせんしております。是非この機会に、生産性の向上を目指してりんご高密度植栽培に取り組んでみてはいかがでしょうか。

弘果総合研究開発 業務部 高密度植栽培担当までお問い合わせください。

2024 令和6年 りんごの専門市場 開・休業日曆

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31					

●印は休業日
○印は休業日

津軽りんご市場 TEL:0172-72-1211
(株)弘果物流 TEL:0172-27-1800
弘果総合研究開発(株) TEL:0172-29-4184
弘果コスモ保険サービス(株) TEL:0172-29-3353

津軽りんご市場りんご展示会受賞団体決定

津軽りんご市場の生産者団体が主催するりんご展示会が行われ、りんご展示会の各賞は次の通りです。

▼津軽りんご市場連絡協議会

- 【無袋ふじの部】(出品点数8) 金賞……西友会
- 銀賞……松緑出荷組合
- 銅賞……コスモス出荷組合
- 【王林の部】(出品点数7) 金賞……西友会
- 銀賞……太長共防会
- 銅賞……コスモス出荷組合
- 【最高糖度賞】 松緑出荷組合(無袋ふじ16・5度)
- 【津軽りんご市場社長賞】 西友会
- 【津軽りんご市場睡峰会会長賞】 松緑出荷組合

▼津軽りんご市場連絡協議会婦人部

- 【無袋ふじの部】(出品点数3) 金賞……深味りんご研究会
- 工藤 洋子氏
- 【王林の部】(出品点数3) 金賞……ロイヤル出荷組合
- 花田勢津子氏

弘果トレサビセンター 営業時間変更のお知らせ

【期間】1月5日(金)～2月24日(土)

【時間】午前8時～午後4時

【休業日】市場休市日 (弘果カレンダー参照)

※1月8日(月)は休業致します。

ゴニンカン 弘果カップ 令和6年は開催中止となりました

りんご無冷蔵品等 早期出荷のお願い

弘果りんご部、津軽りんご市場では、令和6年初市後から「冷蔵品」「無冷蔵品」を区分けして販売します。

消費者の皆様へ鮮度の良いりんごをお届けするため、特に無冷蔵品は、早めの出荷をお願いいたします。

各社も WEB 中

弘果 QR

津軽市場 QR